

「人権の花」育成記録

周南市立徳山小学校

徳山小学校では、緑化委員会の5,6年生児童を中心に「人権の花」の栽培活動に取り組んできました。徳山小学校には、全部で6個の花壇・畑があります。その中でも一番地域の方が通ったり、全校児童が目にしたりする機会の多い、正面玄関前の花壇を「人権の花」としました。業間休みや昼休みには緑化委員会児童が水やりをしたり、夏休み中は6年生児童が「愛校当番」として当番制で水やりをしたりしてくれました。

高学年だけでなく、3年生の学級では係活動としてお世話をしたり、支援学級の児童が手分けして花に水やりをしたりして、さまざまな学年の児童が花を楽しみながらみんなで育てています。



5月 緑化委員会の児童が種植え、苗植えをしました。
新しく植える花に、これからの栽培活動への期待に
胸を膨らませる様子が見られました。

新しい花だ。どんな色の花が咲くのだろう、楽しみ!

みんなで頑張って育てていこうね。

どんどん育ってきました!

緑化委員会では、花の世話の仕方を調べてポスターを作りました。全校児童に知ってもらおうと、各学年の昇降口や花壇にポスターを貼り、全校で花を育てようという意識を高めていました。



そ〜っと、水をあげようね。

地域の方から「お花がきれいに咲いていますね。」と声をかけていただいたことがあります。

児童に伝え、「もっと花の世話を頑張りたい。」と嬉しそうな表情をしていました。